

6月1日
から

役場の電話に「ダイヤルイン」を導入 各課に直通の電話番号がつけました

町では6月1日から、電話の外線が交換手を通さずに直接各課（内線に通じる）「ダイヤルイン」方式を導入しました。

これまででは、役場に用件がある場合は代表番号（☎84-1111）に電話をかけていただくのと、そこから交換手を通して担当課（者）に電話をおつなぎしていましたが、町民の皆さんから「電話が担当者につながるのに時間がかかる」「各課に直接つながる電話番号をつけてほしい」といったご意見やご要望が多くあったことから、「ダイヤルイン」方式の導入となりました。

これにより、各課に左の表のとおり電話番号がつけましたので、役場に用件がある場合は目的の課に直接電話することができ
ます。

また、これまで使用していた代表番号は総務課の番号と兼ねることになりますが、「どの課に電話すればいいかわからない」といった場合には代表番号におかけください。用件をお聞きして担当課におつなぎします。

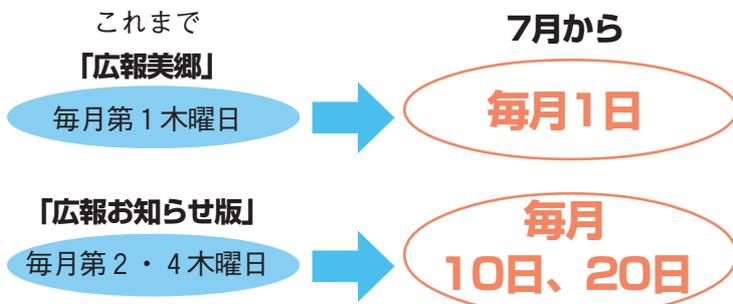
なお、その他の公共施設については、それぞれの電話番号をご利用ください。

| 課名 | 電話番号 |
|----------------------|---------|
| 代表 ※用件を伺い担当課におつなぎします | 84-1111 |
| 総務課 | 84-1111 |
| 町長公室 | 84-4900 |
| 企画課 | 84-4901 |
| 税務課 | 84-4902 |
| 住民生活課 | 84-4903 |
| 総合サービス課(六郷庁舎) | 84-4904 |
| 総合サービス課(千畑庁舎) | 84-4905 |
| 総合サービス課(仙南庁舎) | 84-4906 |
| 福祉保健課 | 84-4907 |
| 農政課 | 84-4908 |
| 商工観光課 | 84-4909 |
| 建設課 | 84-4910 |
| 国体準備室 | 84-4916 |
| 出納室 | 84-4911 |
| 議会事務局 | 84-4912 |
| 農業委員会事務局 | 84-4913 |
| 教育委員会学務課 | 84-4914 |
| 教育委員会社会教育課 | 84-4915 |
| 教育委員会幼児教育課 | 85-3115 |

7月から 町広報紙の発行日に変更になります

町の広報紙「広報美郷」及び「広報お知らせ版」の発行日が、7月から次のとおり変更になります。

行政の情報や町の話題をより見やすく、より分かりやすくお伝えしていきますので、今後ともよろしくお願ひします。



※発行日が休日にあたる場合などは変更になることがあります。

※発行日に各行政区の行政協力員にお届けしますので、その後各ご家庭に配布されることになります。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-4900(内線1225)

あなたの「声」
を町長に直接
伝えませんか

6月のふれあい談話室

| 期 日 | 時 間 | 場 所 |
|----------|------------------|-----------------------|
| 6月14日(火) | 午後5時～ 午後6時30分 | 役場仙南庁舎2階 応接室(元村長室) |
| 6月15日(水) | | 役場六郷庁舎2階 町長室 |
| 6月16日(木) | | 役場千畑庁舎1階 応接室(元町長室) |

町長が各庁舎に出向き、来庁された町民のみなさんから町政へのご意見やご要望を直接お伺いします。
個人でも団体でもお気軽にお立ち寄りいただき、町長へ直接お話しください。



役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班 ☎84-4900(内線1226)

町長が週1日
役場千畑庁舎
と仙南庁舎で
執務

移動町長室

| 曜 日 | 時 間 | 場 所 |
|-------|---------------|--------|
| 毎週火曜日 | 午前9時～ 午後3時 | 役場仙南庁舎 |
| 毎週木曜日 | | 役場千畑庁舎 |

町長が毎週1日、役場千畑庁舎と仙南庁舎で執務していますので、ご用のある方はお立ち寄りください。

なお、会議への出席などにより、不在の場合や実施できない場合があります。

風

美郷町長 松田 知己



「意思疎通」

私はかねてからコピーと言われるコマーシャルのキャッチフレーズに興味があり、意識して広告を見ますが、昨年一番は秋田市建都四百年のコピー『秋田に「け」』でした。皆さんご存知のとおり、来ての「け」、食べての「け」、痒いの「け」。イントネーションの微妙な違いで意思を伝え、聞く側も理解するあたり、意思疎通では侮るべからず秋田弁という感じですね。

次元は違いますが、熟年夫婦も絶妙な意思疎通を一言で図ることがあります。例えば「頼む」の一言でお茶がすつと出てくる、「いいか」の一言で読みかけの新聞を相手に渡すなど、オレンジ・レンジの歌ではありませんが、まさに以心伝心を絵に描いたような意思疎通が存在するようです。

しかし、こうしたことは一定の年数を経なければ到達できない至極の境地だろうと思います。大抵は、きちんと言葉を重ねて意思疎通を図るのが普通です(負け惜しみではありません)。だから私たちは言葉を大切にしたいという認識に帰着する訳ですが、このことは全てに共通です。特に合併直後の美郷町では、言葉や文字を大切にされた相互理解、意思疎通が不可欠です。

地域づくりにはまずは意思疎通。そのためには情報交換が大切ということ、この度、町では皆さんと意思疎通を図っていくための情報として、今年の取り組み概要をまとめた「まちづくりガイド」を作成しました。町がどういう考えで何に取り組み、いくらお金を使うのかご覧いただきたいと思えます。そして、それぞれご意見をまとめてください。今月下旬からは各地区で行政座談会を開催しますので、その際にご意見をいただきたいと思えます。そうした形で情報を共有しながら意思疎通を図り、一つの方向を向いて良き地域づくりを歩んでまいりたいと思えます。戦前の犬養毅元首相ではありませんが、「話せば分かる」のが私たち美郷の良さだろうと思えます。

ところでケント・デリカットさん。「け」の意味、分かっていたのかなあ？

写真

5月9日に開かれた国体美郷町実行委員会設立総会であいさつする松田町長